# 大怪獣空中戦　ガメラ対ギャオス（1967）

GAMMERA VS GYAOS

**メディア** 映画
**ジャンル** ファミリー　特撮
**製作国**　日本
**色彩**　Color
**時間**　86分
**初公開日** 1967/03/15
**公開情報** 大映

**【解説】**

　富士火山帯の活動が活発化し、富士山が噴火した。その噴火に導かれてガメラが現れる。ガメラは溶岩を求めて火口の中に消えて行った。一方、富士山周辺では日本縦断高速道路の工事が行われようとしていたが、金丸村長の指導で土地の値上げを企み売り渋りをする地元村民と、道路公団との間で対立が続いていた。その頃、富士山噴火の調査団を乗せたヘリコプターが山中から発射された謎の光線によって墜落した。新聞記者とともに事故現場に行った金丸村長の孫・英一は、コウモリのような翼を持った怪獣の出現に遭遇、新聞記者はその怪獣に食われてしまう。さらに英一を狙う翼の怪獣の前にガメラが登場、翼の怪獣はガメラに対して口から光線を発射、ガメラは深手を負うが、なんとか英一はガメラによって救い出された。ギャオーと鳴くことから翼の怪獣はギャオスと呼称されることになった。対策本部は攻撃を開始するが、ギャオスの超音波メス光線にあえなく撃退される。次に夜行性で光を嫌うギャオスに対して照明を使って巣に封じ込めようとするが、ある夜、ギャオスはそれを突破する。名古屋にまで飛来したギャオスは、走行中の新幹線を襲い逃げ惑う乗客をむさぼり食った。そこへ再びガメラが出現、避難民の集まった中日球場の上空で空中戦を展開するが、ギャオスの胸から出る消火液でガメラはジェット噴射を封じ込められ伊勢湾に墜落する。ガメラにとどめを刺すべく降下して来たギャオスは逆にガメラに足に食いつかれ、海中に引きずりこまれそうになる。両者一進一退のまま夜が明けて来た。途端、ギャオスは苦しみだし、自ら足を切断すると巣に逃げ帰った。回収されたギャオスの足を分析し、ギャオスの肉体が紫外線に耐えられないことを発見した対策本部は、人工血液でギャオスを回転台までおびき寄せ、回転によって平衡感覚を狂わせ夜明けまでギャオスを巣に帰さず太陽光線にさらす作戦を行うが、変電設備が過負荷になり失敗する。ギャオス対策のあいつぐ失敗で、高速道路のコースが変更されるという噂が流れ出した。土地売却の金が入るあてがなくなり、村民は金丸村長を問い詰める。己の欲深さを悟った金丸村長は、自分の持ち山に火をつけギャオスを焼き殺す作戦を提案した。山に火がつけられ、巣から出て来たギャオスと対策本部との間で消火と放火の攻防が繰り返される。その火に導かれたのか、ガメラが再度登場。しかし、ガメラは二度の戦いでギャオスの弱点を本能的に見抜いていた……！

　シリーズ第３作。全編に渡ってアイデアを惜しみなく注ぎ込み、それらがストーリーと絶妙に組み合わさった娯楽作品に仕上がっている。例えば、ガメラの飛行形態だけでも、この作品のクライマックスで初めて後脚のみのジェット噴射による飛行を見せるほか、回転しない４つ脚噴射、頭部を出したままの４つ脚噴射などのバリエーションをストーリー展開の必然性に絡ませて上手く使い分けている。また、この作品からガメラと子供の交流が明確に描かれているが、今回はさほどストーリーの前面に出ず、むしろ子供は大人にはできない斬新な発想をする者と描かれて、大人側のドラマとバランスが上手くとれている。対戦相手のギャオスはガメラと対照的な直線的を基本としたシルエットと、その狂暴な性格からライバル怪獣として絶大な人気を得、後の『ガメラ対大悪獣ギロン』では宇宙ギャオスとして登場している（なお、英一の姉すみ子を純朴に演じた笠原玲子は『対ギロン』では凶悪宇宙人役で出演している）。さらに平成ガメラの『ガメラ　大怪獣空中決戦』でもガメラと共にリニューアルされて復活を果たした。

【登場怪獣】ガメラ／ギャオス

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

allcinema

【クレジット】

| | | |
|---|---|---|
| **監督** | 湯浅憲明 | |
| **製作** | 永田秀雅 | |
| **企画** | 仲野和正 | |
| **脚本** | 高橋二三 | |
| **撮影** | 上原明 | |
| **美術** | 井上章 | |
| **編集** | 中静達治 | |
| **音響効果** | 小倉信義 | |
| **音楽** | 山内正 | |
| **特技・美術** | 矢野友久 | |
| **特技・合成** | 金子友三 | |
| **特技・撮影** | 藤井和文 | |
| **特技・操演** | 金子芳夫 | |
| **特技・助監督** | 阿部志馬 | |
| **助監督** | 小林正夫 | |
| **出演** | 本郷功次郎 | 堤志郎（工事現場監督） |
| | 上田吉二郎 | 金丸辰右衛門（村長） |
| | 笠原玲子 | 金丸すみ子 |
| | 阿部尚之 | 金丸英一（すみ子の弟） |
| | 丸井太郎 | マイトの熊 |
| | 蛍雪太郎 | 八公（熊の弟分） |
| | 北原義郎 | 青木（動物学博士） |
| | 夏木章 | 自衛隊中央部司令官 |
| | 大山健二 | 県警本部長 |
| | 伊東光一 | 道路公団開発局長 |
| | 遠藤哲平 | 道路公団地方課長 |
| | ジョー・オハラ | ホテル・ハイランド支配人 |
| | 三夏伸 | 岡部（東洋新聞カメラマン） |
| | 小山内淳 | 牧場主 |
| | 丸山修 | 地震研究所所長 |
| | 森矢雄二 | アナウンサー |
| | 村上不二夫 | 山田博士（東洋医学研究所） |
| | 仲村隆 | 中日新聞記者 |
| | 河島尚真 | 牧童 |
| | 井上大吾 | 自衛隊副官 |
| | 飛田喜佐夫 | 巡査 |
| | 北城寿太郎 | 牧場主 |
| | 中田勉 | 村人 |

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.